

ランチェスター法則応用の 弱者の経営戦略

$$\begin{aligned} &\text{ランチェスター第1法則} \\ &A_0 - A_t = E(B_0 - B_t) \\ &\text{ランチェスター第2法則} \\ &A_0^2 - A_t^2 = E(B_0^2 - B_t^2) \end{aligned}$$

「1位作りの経営戦略」

10月8日(土)13:30~16:30

井原市地場産業振興センター 3階 会議室

受講料:無料(商工会議所および井笠法人会会員の方)

※上記以外の一般の方は2,000円

定員:30名

強者の条件は、市場占有率が1位であることです。

ランチェスターの第1法則と第2法則を比較すると、強者は、第2法則を適用したときの方が損害が少ないので、強者は力を残せるように第2法則を適用できる場所で戦うべきであるということになります。

強者の戦略が実行できるのは1000社中5社位しかなく、995社は競争条件が不利な会社になるので、この中に入る会社は当然弱者の戦略で経営しなければなりません。

弱者とは、市場占有率が2位以下のことです。強者以外のすべてが弱者となります。

第1法則と第2法則を比較すると、強者の損害は、第1法則を適用したときのほうが多いので、弱者はできるだけ強者を倒せるように第1法則を適用できる場所で戦うべきということになります。

すなわち、実際の戦闘で言うならば、狭い谷間のような場所に軍を進め、たとえ銃や大砲を使用しても一人で多数を攻撃不可能な状況にして、接近戦や1対1の戦闘にもっていけば、A軍の損害を増やすことができます。もちろん第1法則においても、多数であるほうが優勢であるのは間違いないので、敵を分散させて各個撃破していく事も大切になります。

講師



竹田 陽一 氏

竹田マネジメント 代表

1938年生まれ。久留米市出身。福岡大学卒業後、建材メーカー、企業調査会社を経て、44歳のときに独立してランチェスター経営を創業。以来講演で全国を回り、のべ4300回になる。従業員100人以下の中小企業経営者に向けた専門コンサルタントとして活躍中

10月8日(土)ランチェスター『1位作りの経営戦略』 受講申込書

井原商工会議所 人材育成交流会 (FAX 62-0411、担当:佐藤) 行

事業所名		業種	
所在地		電話番号	
受講者氏名	①		②

主催:井原商工会議所 人材育成交流会(☎62-0420) / (公社)井笠法人会